

愛知県臨床検査技師会 精度管理報告会

令和7年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告 一般検査部門

社会医療法人明陽会 成田記念病院
望月里恵

今回の演題に関して開示すべきCOIはありません

対象項目および試料内容

- 尿定性検査 蛋白、糖、潜血
凍結乾燥試料 2試料
- 便潜血検査(便ヒトヘモグロビン検査)
疑似便 2試料
- フォトサーベイ 12設問
評価対象問題(10題) 尿沈渣8題、脳脊髄液1題、寄生虫1題
教育問題(2題) 尿沈渣1題、体腔液1題

参加状況

- ・尿定性検査 116施設
- ・便潜血検査 87施設
- ・フォトサーベイ 最大93施設

尿定性検査 試料・評価方法

- ・尿定性検査 蛋白、糖、潜血

凍結乾燥試料 2試料(試料41・試料42)

- ・評価基準

A評価: 目標値(正解)

B評価: 目標値から上下1段階まで(許容正解)

D評価: 2段階以上外れたもの(不正解)

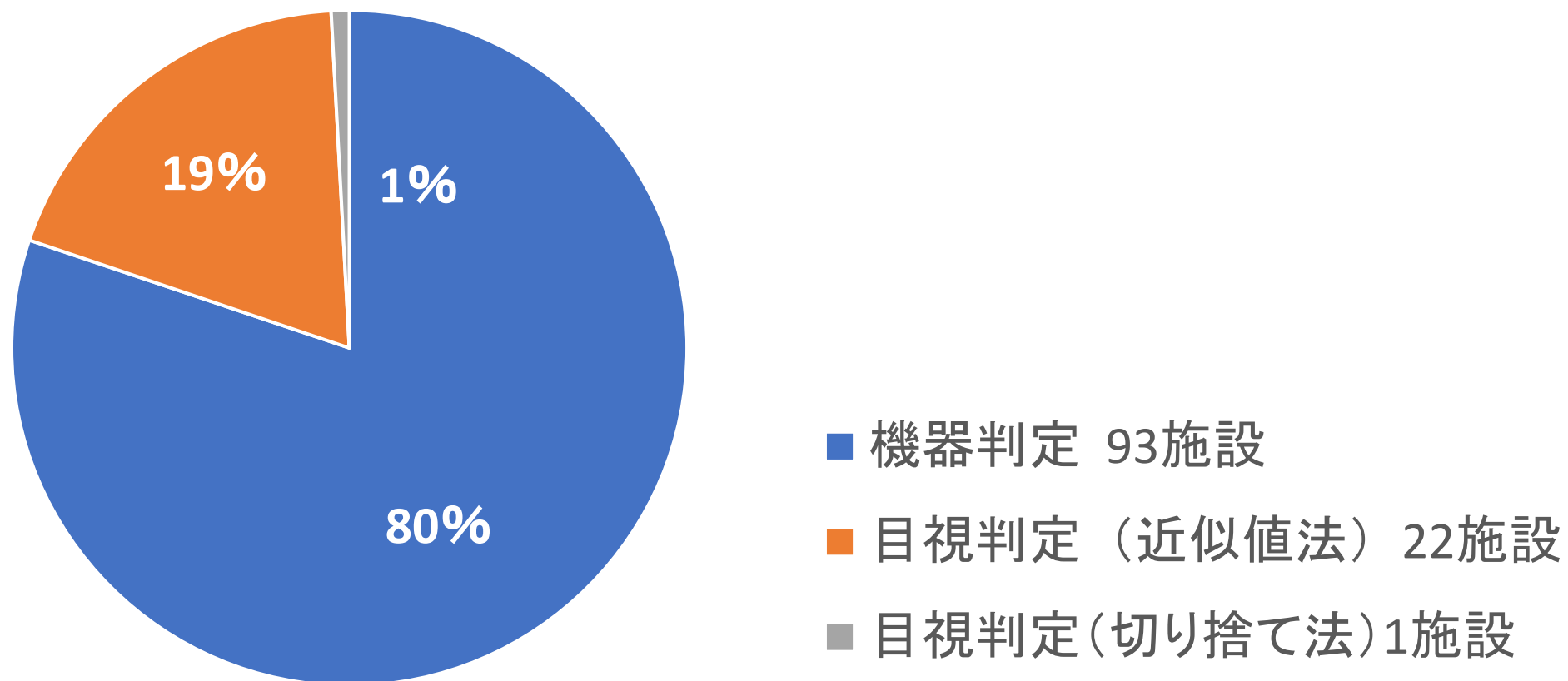
半定量値は評価する際の参考調査とした

尿試験紙メーカー別採用頻度 (n=116)

メーカー	施設数	割合(%)
栄研化学	66	56.9
シーメンス	16	13.8
三和化学研究所	15	12.9
アークレイファクトリー	13	11.2
キヤノンメディカル ダイアグノスティックス株式会社	3	2.6
富士フイルム和光純薬	3	2.6

※未記入は集計より除外

尿定性検査判定方法内訳 (n=116)



※未記入は集計より除外

尿定性検査 目標値

尿試料	試料41	試料42
蛋白	(2+) 100mg/dL	(1+) 30mg/dL
糖	(2+) 250mg/dL	(1+) 100mg/dL
潜血	(3+) 0.75mg/dL	(1+) 0.06mg/dL

調整後の試料の定量値(3回測定の平均)

試料41 蛋白: 104.4mg/dL 糖: 250.7mg/dL

試料42 蛋白: 29.7mg/dL 糖: 101.3mg/dL

尿蛋白定性検査

n=116

	試料41			試料42		
定性値	施設数	回答率(%)	評価	施設数	回答率(%)	評価
(一)	0	0.0	—	0	0.0	—
(±)	1	0.9	D	2	1.7	B
(1+)	1	0.9	B	112	96.6	A
(2+)	111	95.7	A	2	1.7	B
(3+)	3	2.6	B	0	0.0	—
(4+)	0	0.0	—	0	0.0	—

尿糖定性検査

n=116

	試料41			試料42		
定性値	施設数	回答率(%)	評価	施設数	回答率(%)	評価
(一)	0	0.0	—	0	0.0	—
(±)	0	0.0	-	2	1.7	B
(1+)	0	0.0	-	105	90.5	A
(2+)	106	91.4	A	9	7.8	B
(3+)	10	8.6	B	0	0.0	—
(4+)	0	0.0	—	0	0.0	-

尿潜血定性検査

n=116

	試料41			試料42		
定性値	施設数	回答率(%)	評価	施設数	回答率(%)	評価
(一)	0	0.0	-	1	0.9	D
(±)	0	0.0	-	20	17.2	B
(1+)	1	0.9	D	85	73.3	A
(2+)	1	0.9	B	10	8.6	B
(3+)	114	98.3	A	0	0.0	-
(4+)	0	0.0	-	0	0.0	-

便潜血検査 試料・目標値・評価基準

- 便潜血検査試料

疑似便 2種類(試料43、試料44)

- 目標値

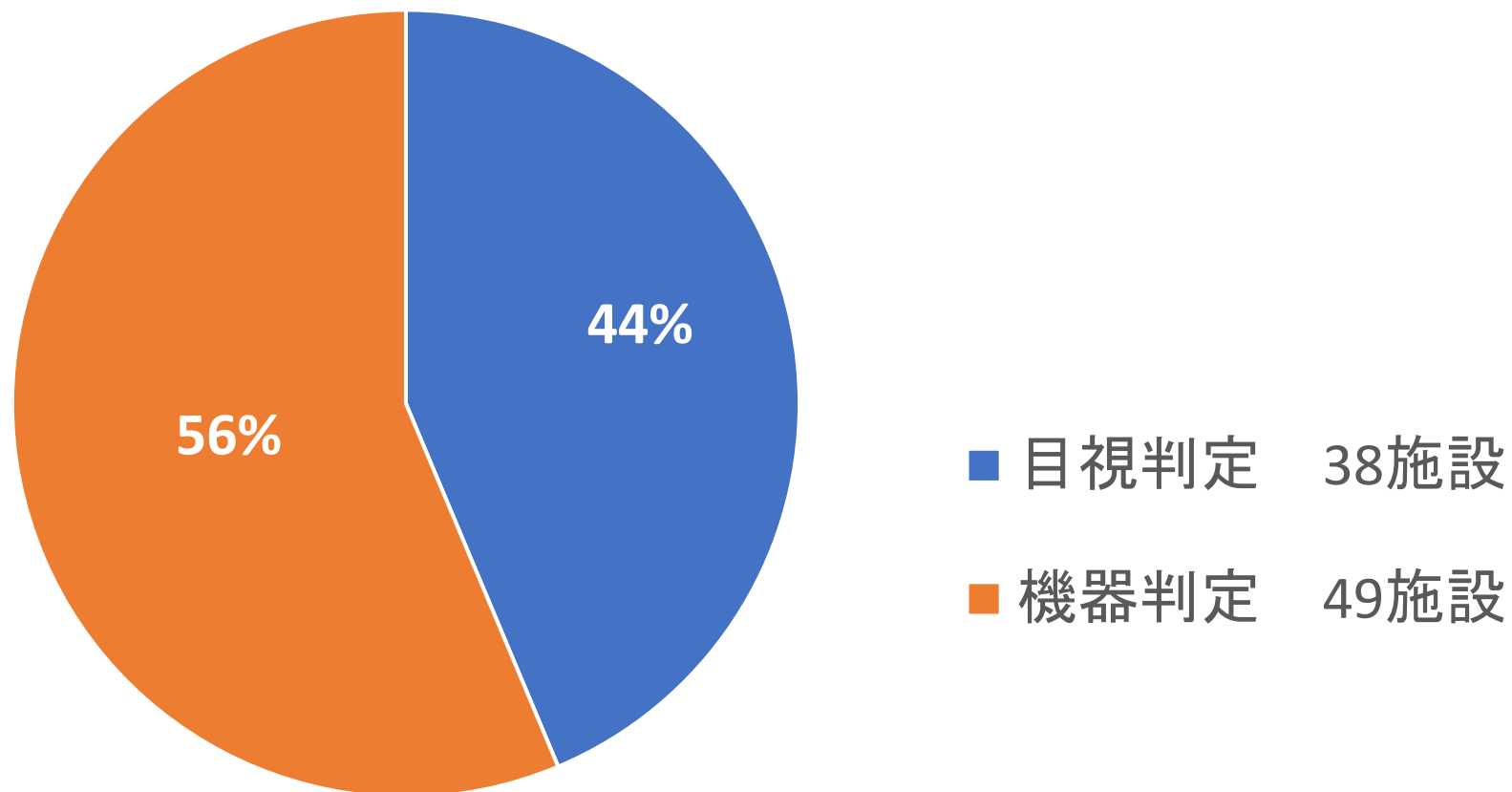
試料43	試料44
(+) 40.0 μ g/g便	(+) 100.0 μ g/g便

- 評価基準

A評価: 目標値(正解)

D評価: 目標値から外れた場合(不正解)

便潜血検査 判定方法 (n=87)



便潜血検査 試薬メーカー

n=87

メーカー	施設数	割合(%)
栄研化学	69 目視判定31施設、機器判定38施設	79.3
ミズホメディー	7 全て目視判定	8.0
アルフレッサファーマ	5 全て機器判定	5.7
富士フイルム和光純薬	4 全て機器判定	4.6
キヤノンメディカル ダイアグノスティックス株式会社	2 全て機器判定	2.3

※割合は四捨五入しています

便潜血検査 結果

n=87

定性結果	試料43			試料44		
	施設数	回答率(%)	評価	施設数	回答率(%)	評価
(+)	89	100.0	A	89	100.0	A

試料43、試料44ともに A評価100%

便潜血検査 測定日

87施設

- ・ 試料到着当日測定 68施設 78% （昨年度 60/89施設 67%）
 翌日測定 14施設 16%
- ・ 到着日・翌日測定
 82/87施設 94.2% （昨年度 78/89施設 87.6%）

便潜血定量値 バラツキの推移

年度	CV値(%) 100 μ g/g便	
2013年	30.2	
2015年	17.8	手引書に擬似便採取方法と取り扱い方法を詳細に記載
2016年	13.9	手引書にさらに写真を追加
2017年	17.1	
2018年	16.5	
2019年	18.0	
2022年	25.6	手引書の疑似便採取方法と取り扱いを改訂
2023年	18.5	
2024年	16.0	
2025年	13.1	注意事項に試料到着日測定を記載

2022年度 便定量値収束目的のため手引書の採便方法を改訂

2025年度 精度管理調査注意事項を変更し、試料到着日施設数が大半をしめた

フォトサーベイ 参加施設数・評価方法

- ・参加施設数

尿沈渣(設問1～設問8)	93施設
脳脊髄液(設問9)	85施設
寄生虫(設問10)	87施設
教育問題1(尿沈渣)	88施設
教育問題2(体腔液)	80施設

- ・評価基準

A評価: 正解

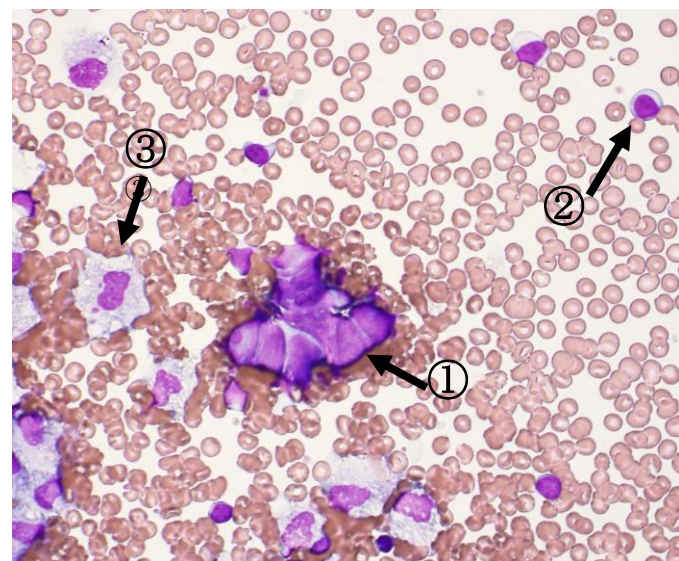
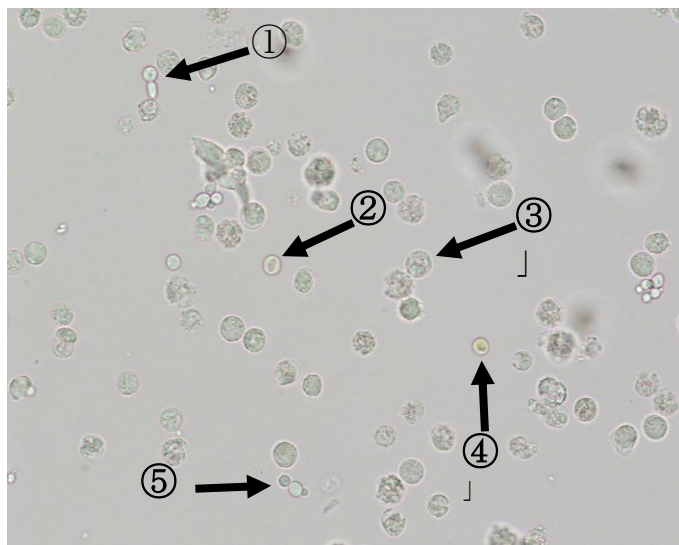
D評価: 不正解(曰臨技の判定基準に準拠)

フォトサーベイ 正解・正解率

設問	正解	評価A(%)
1	2 A:非糸球体型赤血球 B:糸球体型赤血球	94.6
2	3 尿路上皮細胞	96.8
3	5 異型細胞(尿路上皮癌細胞疑い)	94.6
4	4 扁平上皮細胞	100.0
5	4 ヘモジテリン顆粒	100.0
6	1 尿酸塩	100.0
7	4 精液成分	100.0
8	2 赤血球円柱	100.0
9	3 単核球:5 多形核:3	96.5
10	5 日本海裂頭条虫	98.9

設問1～10
平均正解率
98.1%

フотサーベイ(教育問題)



設問	正解	A評価(%)
教育問題 1	①082: 真菌 ②001: 非系球体型赤血球 ③003: 白血球 ④001: 非系球体型赤血球 ⑤082: 真菌	①: 98.9 ②: 96.6 ③: 100.0 ④: 100.0 ⑤: 95.5
教育問題 2	①10: 小細胞癌細胞疑い ②03: リンパ球 ③05: 組織球	①: 81.3 ②: 100.0 ③: 100.0

平均正解率
教育問題1
98.2%

平均正解率
教育問題2
93.8%

- コード表を用いて回答選択
- 難易度についてアンケート実施(n=74)

適当	56施(76%)
難しい	18施設(24%)

まとめ

- ・尿定性検査、便潜血検査、フォトサーベイの結果は概ね良好であった
- ・便潜血定量値は手引書改訂以降ばらつきが改善傾向である
- ・フォトサーベイ教育問題は回答形式を変更したが、問題なく回答できた
- ・精度管理の総括集を用いてフィードバックを行っていただきたい

ご静聴ありがとうございました